

すべてのこどもに適切な小児医療と 快適な闘病生活を

Save the Children



私たちは 離島・へき地の難病児たちを支援します



特定非営利活動法人(NPO)
こども医療ネットワーク

「こども医療相談会」
与論島で
十二月三日実施

平成17年12月3日(土)、与論島でこども健康相談会を実施しました。メンバーは医師の嶺崎俊郎、河野嘉文、野村裕一、児玉祐一、そして看護師の内山美香の5名でした。

与論島は北緯27度、沖繩のわずかに北東にある(海を隔ててそばに沖繩が見えます)人口5,998人(平成16年2月統計)の島です。

鹿児島からの飛行機は毎日1往復のみ(片道80分)で、鹿児島県とは言え、むしろ沖繩へのアクセスの方が良い状況です。南の島ですが当日は寒波の影響で気温は低くとても半袖ではいられない状況でした。

与論島でのタイムスケジュールは、
■14時：会場設営(健康保健センター)：嶺崎、野村
■15時：こども医療講演会
■16時：こども健康相談会
■17時：こども医療講演会
■18時：こども健康相談会
■19時：こども医療講演会
■20時：こども健康相談会
■21時：懇親会



▲健康保健センターにて

パナウル診療所では、古川院長とともに患児の治療・検査を行いました。：河野、児玉、内山

こども医療ネットワークの助成金授与：河野
■15時：こども健康相談会
■16時：こども健康相談会
■17時：こども健康相談会
■18時：こども健康相談会
■19時：こども健康相談会
■20時：こども健康相談会
■21時：こども健康相談会

こども医療ネットワーク発足会
鹿児島県鴨池で開催

昨年9月11日、鹿児島県鴨池・自治会館において、関係者約60名の出席のもと、こども医療ネットワークの発足式が開催されました。



開会の辞、役員・事務局の紹介の後、「発足の趣旨」と「年度活動計画」の鹿児島県小児医療事情の説明へと続き、

「今後の活動に際する意見集約および討論」を行いました。設立当初の活動案として、法人の広報と会員の拡大、基本財源の確保、患者の実態調査などが挙げられ、また既存の活動として鹿児島県こども病院の離島巡回診療や生協病院の離島診療活動、池田病院の屋久島診療を支援することや、健康相談会の設立などが提示されています。

■21時：懇親会

健康相談会の参加者は、相談児数19名(自宅訪問1名を含む)。ポータブル心エコーを持っていたのですが、2名の心エコー検査も行い、家族から感謝されました。

相談の内容はごく普通の内容が多く、小児専門医が近隣にいない不便さをつくづく感じさせられました。

講演会には30名程度の参加でしたが、皆さんとても熱心に聴いてくださり、話をする方にもつい熱が入っていました。

今回の目的の①相談会、②講演会、③与論から治療検査にきている患児の治療・検査

ありがとう、そして頑張ってください

支援金を受け取られた方々からも、喜びと感謝の声が寄せられています。

Y・K君(13)のお母さん・Mさんは、

「昨年10月に骨肉腫で入院し、昨年2月に摘出手術を受けて、おかげさまで12月に退院することができました。約一年間の入院で鹿児島までの移動は大変でしたが、今回このようなご支援をいただき、本当にありがとうございます。」

また、K・H君(8)のお母さん・Kさんから、

「昨年12月に急性リンパ性白血病と診断され、現在も通院治療中です。今回のご支援に申しまして、心からお礼申し上げます。」

頻りに鹿児島に上ります。頻りに鹿児島に通って骨髄検査を受けておられますが、一度の滞在が最低でも3泊4日となり、移動手段も飛行機です。

通院中に法人の設立の話は聞いておりましたが、こんなに早くできるとは思いませんでした。これから、私たちの心の支えとして活躍されることをお祈りします」とのお話をいただきました。

こども医療ネットワークでは2006年も、健康相談会、講演会、募金活動などを、さまざまな離島やへき地に拡大していく予定です。

「こねつと通信」は、会員の方々と本部・事務局を結ぶコーナーです。ご意見・ご要望など、下記までどしどしお寄せください。

- 郵便等……〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部付属病院 小児診療センター小児科医局内「こねつと通信」係
- メール……hjl1@vanilla.ocn.ne.jp (事務局準備室)
- 電話&FAX……099-251-5930(尚、電話の場合は録音になります。後日事務局よりご返答いたしますので、連絡先・電話番号等を録音してください)

2005年 活動報告



十島村巡回診療

…… 鹿児島県こども病院 ……

当院の十島村巡回診療は1995年から10年間で合計44回、のべ1531名を診療していますが、このNPO関連の活動としてその発足(2005年8月)後のものにつき報告いたします。

① 9月26日(月)23時50分、鹿児島港発フェリーとしてしま(1389トン)に乗船、船中泊。

② 9月27日朝7時、鹿児島から222km離れた中之島で下船し朝食。中之島へき地の診療所では乳児2名、幼児11名の健診。いずれも成長発達に異常はありませんでした。以降「ななしま2」(19トン)で各島を巡回。

③ 中之島から諏訪之瀬島に移動(距離30km、時間60分)、幼児2名健診。昼食。

④ 諏訪之瀬島から悪石島へ移動(20km、60分)。乳児1名、

⑤ 悪石島から小島へ移動(35km、60分)。波が荒く3名のみしか上陸できませんでした。幼児1名健診。

⑥ 小島から宝島へ移動(15km、40分)。乳児1名、幼児2名、学童1名健診。学童は足関節捻挫。日暮れて暗い道を民宿に辿り着き夕食。宿泊。

⑦ 9月28日早朝はるか南方にある台風19号の影響で波が高くなり「ななしま2」による名瀬までの南下は断念。同船で中之島へ北上するコースに変更。かなりの荒波で2時間余の航路に、皆気分が悪くなりました。中之島で休憩、12時35分発の「フェリー」として乗船。鹿児島まで約20時間乗船。揺れが止まらず、20時鹿児島港着。

⑧ 今回は1日で5島を巡回する強行軍となり、波が荒く船酔いもありましたが、村民は年中こういう体験をしていることだろう。合計26名診て特に心配な子どもがいなかったのが幸いでありました。

■次回は12月19日、21日の予定でしたが、全国的に寒波襲来で天候悪く、船は就航中止、巡回診療も実施できなくなりました。

10年間の統計でも、計画の3分の1は高波で直前に中止されています。種子島や屋久島に行く船は出ても、十島村内を連結する船を出せない異なる事情による生活が

あります。十島村とはそういう環境の場所であることを改めて感じました。

(文責／宮田晃一郎)

ご寄付のお願い

Thank you for your donation

2005年12月30日現在、下記の皆様より
ご寄付をいただいております。
ありがとうございました。

- 森岡 洋史 様
- 前野 伸昭 様
- 株式会社日本科学 様
- 西村 正人 様
- 鹿児島県公的病院 院長会 様
- 中村 みどり 様
- 医療法人 愛育会 愛育病院 様
- キンビール株式会社医薬カンパニー 様



■ 一般寄付

本法人の活動意義をご理解いただき、
ご寄付を賜りますようお願いいたします。
現金収受の方法は、事務局へお問い合わせください。

■ 個人賛助会員：年会費（一口）……………**12,000円**

■ 法人賛助会員：年会費（一口）………**120,000円**

本法人の活動意義にご賛同いただき、活動を支援いただける
個人または企業の入会をお願いしております。
入会申込書を事務局へご送付ください。

役員紹介

役員

理事長：河野嘉文

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授(小児科学)



副理事長：高松英夫

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院院長



副理事長：細谷亮太

聖路加国際病院副院長・小児総合医療センター長



- 理事**
- 池田琢哉：鹿児島県医師会副会長・池田病院院長
 - 川上 清：鹿児島市立病院小児科部長
 - 川野範子：鹿児島大学医学部・歯学部附属病院小児診療センター師長
 - 鮫島信一：医療法人育成会鮫島小児科医院
 - 武井修治：鹿児島大学医学部保健学科教授
 - 嶽崎俊郎：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授(離島医療学)
 - 鉾之原昌：鹿児島大学理事・副学長
 - 西畠 信：総合病院鹿児島生協病院小児科部長
 - 野村裕一：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科助教授(小児科学)
 - 宮田晃一郎：鹿児島大学名誉教授・鹿児島こども病院
 - 宗像修三：医療法人天会鹿児島こども病院院長

- 監事**
- 田上容正：医療法人義順顕彰会田上病院理事長
 - 福永秀敏：独立行政法人国立病院機構南九州病院院長

●お問い合わせ先●

特定非営利活動法人 こども医療ネットワーク 本部

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内

電話：099-275-5354

特定非営利活動法人 こども医療ネットワーク 事務局準備室

電話 & FAX：099-251-5930

特定非営利活動法人(NPO) こども医療ネットワークとは…

特定非営利活動法人(NPO) こども医療ネットワークは、離島やへき地など、小児医療の専門医が少ない地域にすんでいるこどもさんが、長期間の入院が必要な治りにくい病気にかかった時に、本人およびご家族が安心して闘病できるように支援することを目的に設立されました。病気に対する不安や疑問を解消し、外泊あるいは通院にかかる負担を軽減するための事業を行います。すべてが皆様の共感とご協力のもとに運営されます。

皆様からお預かりした個人情報、
会員のご案内の発送以外の目的で使用することはありません。
また、ご本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。